

茨城県の主要大学学長が語る



森 征一学長

常磐大学

「学び」の舞台が大学キャンパス内から世界へと広がっている。21世紀に求めらるべき学は、社会が抱える問題を解決する能力だ。常磐大学の創始者、諸沢みよは、「竹のように伸びやかな人間になつてほしい」として、問題解決能力を備えた人材であらうと、コミュニケーション能力がますます求められ、グローバル時代の学びには共通語としての英語が必須であり、これを支援していく。また、伸びやかに生きるた



池田 幸雄学長

茨城大学

世界は「21世紀の激動期」を迎えている。この時期に社会で求められるのは、積極的で、自主自律に富んだ、協調性のある学生だ。最近の一般的な学生の傾向として、男子学生を中心に、積極性が足りないのではないかと言われている。心配だ。



清水 一彦副学長

筑波大学

学校教育において「生きる力」をしっかりと身につけた向学意欲の旺盛な学生を求めている。「生きる力」とは、意欲、知力、感情力、体力、技術力、コミュニケーション力、マネジメント力を指す。筑波大学は「開かれた大学」を掲げて1973年に創

社会に求められる学生像

2014年春卒業予定の大学生らを対象とする企業の採用活動が解禁された。茨城県内では東日本大震災からの復興需要に支えられ緩やかな回復感が見られ、若者を積極的に採用する動きも一部で見られるようになった。だが、欧州・中国経済の低迷や円高の影響など、就職活動期を迎えた学生にとって、厳しい環境には変わりはない。一方、大学進学を目指す高校生にとっては、県内の大学の将来の方向性を知る機会にもなる。そこで茨城県内の主要な大学の学長・副学長に、「社会に求められる学生像が変わる大学」というテーマで語ってもらった。

茨城県特集

「生きる力」持つ人材を

く人材を育成するために、教育の伝統と不断の改革を行っている。特に世界と共生するグローバル人材の育成のために、英語プログラムの拡充をはじめ、3学期制から2学期セメスター制へ学期制を変更することで、秋入学にも対応していく。さらに、リディンク大学を主とする分野横断型の学位プログラムの創設や、グローバル人材拠点事業による「グローバル・ラーニング・コモンズ」の設置などの改革を進めるほか、未来のグローバル社会を背負う学生のための環境整備も推進中だ。

積極性と自律性が必要

現在の日本では大学進学率が50%を超え、大衆化している。そのため、男女に關係なく入学後も自分の将来の方向性を見いだせず何となく勉強している学生が多いためではないだろうか。こうした学生は得てして分からない事には興味を示さず、放っておく傾向がある。狭い領域に知的分野が偏ることなく、周辺の余計な領域にも意欲的に関心を寄せることが必要。そうすることで、自分の可能性を広げ、多方面に興味を持って

問題解決能力を備えて

めには、学生が自分の能力に自信を持つことが大切だ。挑戦して得た教訓や経験値は自信につながる。自己の能力は学びの中で発見していくものだ。学生一人では発見しにくい。本学では「プロジェクト制」をはじめとして20単位まで自由に選択できるマイ履修プランを活用し、モデル提示し、学生の自主性を引き出していく。履修モデルとして「観光振興モデル」や「まちづくりモデル」などを準備検討中だ。こうした実学を経験し、社会で役立つことの意味を学び、新しい時代を勝ち抜く実力を養ってほしい。

特色ある多様な教育で人材育成



小池田 富男学長

流通経済大学

東日本大震災後のわが国は、長期の経済的停滞、グローバル化、人口の減少という厳しい環境の中にいる。21世紀型の「イノベーション立国」を目指して国際競争力を強化するためには、不確実で多様な変化にも対応し、新たな価値や産業を生み出す創造力豊かな人材が必要だ。



村上 芳則学長

筑波技術大学

「学び」には「社会に出て仕事に役に立つ学び」と「人間性を高める学び」がある。「仕事に役に立つ学び」とは専門知識と技術を修得する学びで、学びの過程で未知の課題や難しい問題を解決できる「考える力」が育成される。他方、「人間性を高める学び」は、物事の考え方など仕事に役に立つ学びと「基礎力」と言い換えてもよい。科学技術が進めば進むほど重要性が増していく。



大島 慎子学長

筑波学院大学

グローバル化が進み、流動化する現代社会に求められる人材は、多様な価値観を理解して他人を受け入れる共感力が必要である。筑波学院大学では、「つくば市をキャンパスに」学生が地域と共生する大学を目指し、学生が各団体に面接し、企画書を提出してそこで活動し、年度末には報告会を開催することにより、学生は自分の資質を客観的に把握し、仕事の達成感を味わう。現代社会では、どのような職業においてもマネジメント



小松 美穂子学長

茨城キリスト教大学

社会が求める学生像は、社会が大学に求めるものは何かの裏返しである。多くは「自信と誇り」をもった人材を育成することが、大学が行うべき取り組みといえる。これはまさに茨城キリスト教大学の建学の精神、隣人愛である。本学は他者を尊重し、その関係から個々の自分に向き合うことを大切にしたい。また、毎年大学全体

創造力の豊かな人材を

新をもちたす人材の育成が不可欠だ。そのためには、学生に社会のさまざまな現象を判断するための軸が必要だ。軸がないと多様な知識の寄せ集めではない。自分なりの配列でどう組み合わせるか、それを創るのが大学の教育だ。本学には、学生の基礎学力の育成を支援する、教育学習支援センターがあり、キャリア教育としての就職支援センターもある。これらは事務組織であり、教育組織として「軸」形成も支援している。今後、いかに教えるかに力を入れていきたい。

未知の課題 考える力を

なる充実に取りかかる。まず、学生の学習時間の増加を狙った観点別評価を導入すれば13年度にも導入する。学生の学び度合いを理解できるシステムを構築することにより、学習計画を支援していく。また、障害者支援のノウハウを他大学にも活用してもらうため、14年4月を目標に障害者高等教育研究支援センターを基盤とした専門家庭教育機関として、大学院新専攻の設置を検討し、将来に理療科教員養成課程の設置も視野に入れる。聴覚・視覚に特化した大学として本格的に留学生を受け入れていきたい。

共感力と適応力が必要

感覚とエピソードが必要である。大学の講義では情報技術の習得とともに、その技術を有効に使いこなす教養を身に付け、地域貢献活動では社会をささえる意識を育てる。学生と社会人の違いは、学生は個人の努力のプロセスが評価されるが、社会で働くこと努力をしても結果がでないこともあり、また結果だけでなく、プロセスが評価されることである。一歩前に進む勇気、広い世界に対する好奇心が人間を成長させるので、短期語学研修などで学生が海外に出る機会を奨励している。

「自信と誇り」もてるように

が教育目標を明確にし、自己点検や評価をしていくことで、よりよい教育を目指していく。本学は今、新学部（経営学部）から卒業生を初めて輩出する年に当たる2015年をめぐりに、建学の精神の具現化を担う教養教育の再構築を計画している。大学内では教養教育と専門教育の連携を、大学外では地域・国際連携を深め、地域・国際との協同による教育機会の拡大を目指していきたい。これらの教育により本学学生が「自信と誇り」をもてるように願っている。

日立特約店・日立エレベーター特約店 センター電機株式会社

〒310-0005 水戸市水府町1492 ☎029(225)3111代
営業所 水戸・日立・土浦・下館・ひたちなか

「電子カルテ」の開発・販売ビジネスを 一緒にやって頂ける会社との提携を模索しています。

興味がありましたらご連絡下さい。
株式会社 東日本技術研究所 TEL 0294-52-8888
East Japan Institute of Technology Co., Ltd.

Since 1962
TAKAHASHI KIKAI
NC CAD-CAM ROBOT SYSTEM HANBAI
E-mail sougo@takahashi-kikai.co.jp
本社 〒316-0002 茨城県日立市桜川町3-15-6 ☎0294-36-1288代 FAX 0294-37-1102
営業所：北茨城マシンプラザ 那珂営業所 下館営業所 つくば営業所 厚木営業所 千葉営業所

TOSO カーテンレール プラインド アコーデオンドア 製造・販売
トソー株式会社 http://www.toso.co.jp
本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9 つくば 〒303-2494 つくばみらい市小絹551
TEL 03-3552-1211 FAX 03-3552-1009 事業場 TEL 029-752-2111 FAX 029-752-4518

株式会社 日立ライフ 取締役社長 佐藤 修二 〒317-0073・日立市幸町1-20-2 ☎0294(25)1269代	日立電鉄交通サービス株式会社 取締役社長 土屋 静治 〒317-0073・日立市幸町3-4-6 ☎0294(22)2161代	株式会社 日立物流 東日本営業本部 執行役本部長 名和 裕 〒317-0077・日立市城南町1-5-1 ☎0294(22)1101代	株式会社 日立エンジニアリング・アンド・サービス 取締役社長 瀧澤 照廣 〒317-0073・日立市幸町3-2-2 ☎0294(22)7111代	日立設備エンジニアリング株式会社 取締役社長 松本 隆 〒317-0076・日立市会瀬町2-9-1 ☎0294(55)9500代
日立協和エンジニアリング株式会社 取締役社長 片寄 博光 〒317-0072・日立市井天町3-10-2 ☎0294(22)1115代	日立原町電子工業株式会社 取締役社長 小田井 恒吾 〒317-0072・日立市井天町3-10-2 ☎0294(22)0330代	日立埠頭株式会社 取締役社長 加子 茂 〒319-1222・日立市久慈町1-3-10 ☎0294(53)4111代	株式会社 日立アイシーシー 取締役社長 荻原 淳 〒316-0023・日立市東大沼町4-1-3 ☎0294(36)3111代	日立多賀テクノロジーズ株式会社 取締役社長 篠永 佳克 〒316-8502・日立市東多賀町1-1-1 ☎0294(33)2251代
株式会社 日立エレクトリックシステムズ 取締役社長 若狭 文雄 〒312-0003・ひたちなか市足崎西原1450 ☎029(285)1541代	株式会社 日立情報制御ソリューションズ 取締役社長 茅根 修 〒319-1221・日立市大みか町5-1-26 ☎0294(53)6115代	株式会社 日立カーエンジニアリング 取締役社長 水上 雅夫 〒312-0062・ひたちなか市高場2477 ☎029(276)6950代	日立水戸エンジニアリング株式会社 取締役社長 高橋 龍彦 〒312-8506・ひたちなか市市毛1070 ☎029(272)4311代	株式会社 日立ハイテクコントロールシステムズ 取締役社長 横林 敏昭 〒319-0316・水戸市三湯町500 ☎029(257)5100代
株式会社 日立テクノロジーズ・アンド・サービス 代表取締役 大谷 健二 〒300-0013・土浦市神立町603 ☎029(831)4158代	株式会社 日立ハイテクマニファクチャ&サービス 取締役社長 本田 穰慈 〒312-0033・ひたちなか市市毛1040 ☎029(276)6340代	日立国分機器エンジニアリング株式会社 取締役社長 井中正一 〒316-0035・日立市国分町1-1-1 ☎0294(33)0735代	茨城産業人クラブ 会長 高橋 日出男 〒310-0015・水戸市宮町2-3-2 富士ビル8F ☎029(221)6400	